

## 編集後記

学制改革、そして戦争をはさんだ激動の時代にもまれた我々も、古稀・高卒50周年を迎えた。お互い学生時代を思い又、今を生きる心境などを述べ、一冊に纏める事も今後の人生のよすがとなるかと考え記念誌の刊行を思い立ち、去る15年春、有志相集い全員の賛同を得た。当初は、集まった原稿をまとめたパンフレットに毛のはえた程度のもをを考えていたが、村上、藤澤両君の大変な努力により、この様な冊子とする事が出来た。

学校の歴史で、文武両道拔きん出た学年として自負している我が同期だが、これを代表するのは「文」の田村、「武」の小武方両君、又、最も敬愛する恩師として山中、戸嶋両先生を挙げることに何ら異存は無いと思う。しかし、この方々の寄稿を戴けないことは誠に残念至極。しかしながら、幸い記述の通りご遺族、関係者等、皆様からのご寄稿を掲載出来た事は大変喜ばしい事であった。

諸兄からの寄稿文は、何のてらいも無い、心のままを表した素晴らしい、一読心温まる文章でこれ又嬉しい限り。

「ああそうだったのか、そんなこともあったのか、そんな楽しみがあるのか、思わぬ探し物を見つけた。」そんな心地のする素晴らしい文集だと感じて貰えれば編集者一同誠に幸甚に思う。

最後に印刷・制作にあたり多大の協力を戴いた吉田勉君に深く感謝する。

小泉 仁左衛門